

令和4年8月23日

県民・事業者の皆様へ

愛媛県知事 中村 時広

新型コロナウイルス感染症に関する「愛媛県B A. 5医療危機宣言」の 発出について

本県では、8月9日、B A. 5対策強化宣言を発出し、重症化リスクの高い方を守るため、「保健・医療のひっ迫回避」と「感染回避のための対策強化」について、県民の皆さんに強い呼びかけを行いました。

しかしながら、お盆明け以降、新規陽性者数は連日3,000人を超えるなど、かつてない規模の感染拡大が続き、いまだピークが見えない状況に変わりはありません。

また、医療提供体制は、陽性者の急増によって外来・入院ともにひっ迫しており、コロナへの対応だけでなく、医療全体にも支障が生じつつある危機的状況にあります。

- 8月20日には、県医師会長および愛媛大学医学部附属病院長が記者会見を行い、
- 多くの医療スタッフが陽性あるいは濃厚接触者となり、現場のマンパワーが大きく低下していること。
 - それに伴い、一般病棟の閉鎖や縮小、手術の延期など、診療の一部制限を余儀なくされる状況が多数発生していること。
 - また、発熱外来は混雑が続き、救急を含め医療アクセスに支障が生じていること。
 - 医療提供体制の維持は限界に近く、ここ1～2週間が山場。県民の皆さんは、危機感を持って、人との接触を避ける行動をお願いしたい。
- といった現場の声を届けられました。

こうした状況を踏まえ、8月末を期限としていた「B A. 5対策強化宣言」を延長し、行動制限にも踏み込んだ「B A. 5医療危機宣言」を発出することとしました。

【期間：令和4年8月23日（火）～9月16日（金）】

県民の皆さんには、県内の深刻な感染状況、そして、医療現場の危機的な状況を強く認識していただき、改めて一人ひとりが感染リスクを避け、重症化リスクの高い方を守るため、医療危機を回避するために必要な行動をとっていただくよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

◆感染を減らすための行動変容

- 一人ひとりが感染対策を強めて
- 人との接触の機会を減らすため自ら行動制限を
- 人と会う予定や出かける予定はできるだけ延期を

◆さらなる対策の強化

①会食ルールの強化

- 同一テーブル4人以下、テーブル間の移動なし
概ね2時間以内、認証店を推奨

②イベント対策の徹底・強化

- 県が関与する集客イベント等は、ワクチン接種又は陰性の確認など感染対策の徹底を前提とし、規模の縮小や内容を見直し。可能なものは延期や中止
- 市町や民間主催の集客イベントも同様の対応を要請

③公共施設（スポーツ・文化活動施設）の貸出条件・管理の強化

- 県管理施設の宣言期間中に利用する新規予約の受付停止
※感染対策を講じた興行に類するものを除く
- 県管理施設の入場制限の徹底。特に混雑時の入場制限の強化

④高齢者への感染を防ぐ対策の強化・徹底

- 入所型の高齢者施設に検査キット10万個配布

⑤新みきゃん割の新規予約受付の停止

- 9月以降延長になった場合（国が検討中）も9月16日までは新規予約受付を停止

◆保健・医療ひっ迫への理解と協力

①症状に応じた適切な医療受診及び救急車の適正な利用

- 基礎疾患がない20代～40代の方は、発熱等の症状があっても、市販薬（解熱剤等）を服用するなど自宅で静養を

②保健・医療の負担を軽減する新たな取り組みの利用

- 20～40代で、重症化リスクの低い軽症の方は、「陽性者登録センター」（8/26～運用開始）
- 自己検査等で陽性となった無症状の方は、「自主療養届出システム」
- 陽性確定診断を受けた自宅療養中の方は、「自宅療養者医療相談センター」

③早期のワクチン接種

- 高齢者は、重症化リスクを防ぐため、ワクチンの種類を問わず4回目接種を
- 5～11歳のワクチン接種は、日本小児科学会も推奨しており、接種の前向きな検討を

なお、「愛媛県B A. 5医療危機宣言」の詳細等は、別添の資料にまとめておりますので、ぜひご一読ください。また、宣言にかかる説明と医師会長等による記者会見の様子は、次の2次元コードから録画データをご覧くださいませよう願いたします。



（宣言にかかる説明）



（医師会長等 記者会見）